

ろう教育ってなに？

手話で学び育つ子どもたち
～ ろう教育の今 ～

おの こうすけ
講師：小野 広祐 先生

令和8年1月24日(土)

講師プロフィール

東京都立杉並ろう学校(幼小中)、
大田ろう学校高等部を経て、和光大学
人間関係学部人間関係学科卒業。
1999年デフリースクール龍の子
学園創設時から活動。2008年に東
京都の構造改革特区を利用して設立し
た学校法人明晴学園の設立に携わる。

現在、明晴学園校長。
NPO法人バイリンガル・バイカル
チュラルろう教育センター理事、
NHK手話ニュースキャスター。

日時

2026年1月24日(土)

13:00～16:00 (開場12:30)

会場

越谷市中央市民会館 劇場
(越谷市越ヶ谷四丁目1番1号)

タイムテーブル

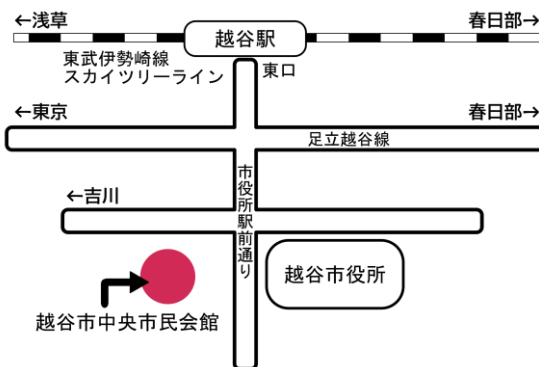
第1部 13:15～ 講演

第2部 15:00～ トークショー
ミニ手話教室

参加費無料・申込不要

手話通訳・要約筆記
ヒアリンググループあり

MAP



主催 越谷市
主管 越谷市聴覚障害者協会
協力 越谷市手話サークルよつば会
越谷市ボランティア連絡会手話すみれ

問合せ 越谷市福祉部障害福祉課
住所 : 越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
TEL : 048-967-5137
FAX : 048-963-9171
E-mail : shogaifukushi@city.koshigaya.lg.jp

プロフィール

1979年生まれ。東京都立杉並ろう学校幼稚部から中学部まで学び、東京都立大田ろう学校高等部を経て、和光大学人間関係学部人間関係学科を卒業。在学中に多様なろう者との出会いを通して、自身が受けてきた教育に疑問を抱き、ろう教育の道を志す。

1999年、龍の子学園の創設に参加し、ろうの子どもたちに手話を中心とした学びの場をつくる活動に携わる。8年にわたる取り組みの末、「構造改革特区」制度を活用し、2008年に東京都品川区八潮で学校法人明晴学園を開校。現在も教育現場で活動をしている。

また、和光大学で非常勤講師として「ろう文化」の講義を担当した経験を持ち、特定非営利活動法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター(BBED)の理事としても活動。NHK手話ニュース(手話ニュース845・週間手話ニュース)のキャスターを務め、教育現場だけでなく、メディアや社会に向けてもろう文化や手話の価値を発信している。

主な著書・執筆に『ぼくたちの言葉を奪わないで!』(明石書店、2003年、第3章執筆)、『マイノリティの社会参加 一障害者と多様なリテラシー』(くろしお出版、2014年、第1部第3章執筆)、『日本手話へのパスポート』(小学館、2023年、共著)がある。



講師：小野 広祐 先生



明 晴 学 園 と は ?



明晴学園は、日本で唯一の私立ろう学校(特別支援学校)であり、日本手話と書記日本語、ろう文化と聴文化を柱としたバイリンガル・バイカルチュラルろう教育を行っています。

第一言語としての日本手話と第二言語としての書記日本語を身につけることで、バイリンガルとしての育成を目指します。また、ろう者としてのアイデンティティを育み、多文化共生社会や国際社会で活躍できる力を育てます。

文部科学省から教育課程特例校として認可されており、独自の教科「手話」「日本語」「市民科」を設置しています。これにより、豊かな人間性や社会性を育成し、自ら考え学ぶ力を養う教育を提供しています。